

## 令和7年度 ながさき農林業大賞受賞者一覧

### 1 農林水産大臣賞及び長崎県知事賞

部門及び区分	氏名・組織名等	市町	経営規模等	地区
花き部門 (トップファーマー)	有限会社 朝倉花園	諫早市	カーネーション ガーベラ 草花	53a 50a 9a
【取組内容】				
・主たる経営品目のカーネーションに加え、ガーベラにも力を入れ、ヒートポンプや炭酸ガス発生装置、長崎型低成本統合環境制御装置等ICTを活用した環境制御技術、LEDによる光防除技術による減農薬栽培等、最先端技術を導入し、高品質な切り花生産により安定した経営を実践。				
・取引市場へのPR活動によって価格の安定を図るとともに、本人自ら地元花屋や小学校等と連携した花育活動やフラワーアレンジメント教室を開催し、消費拡大に向けた取組を実践。				

### 2 長崎県知事賞

部門及び区分	氏名・組織名等	市町	経営規模等	地区
1 露地野菜部門 (トップファーマー)	栄田 孝・真知子	諫早市	春作ばれいしょ 秋作ばれいしょ にんじん 水稻	300a 100a 200a 45a
2 施設野菜部門 (トップファーマー)	前川 耕市・靖代	平戸市	いちご アスパラガス ぶどう 水稻	22a 20a 10a 120a
3 果樹部門 (トップファーマー)	田川 正道・則子・大志	大村市	温州みかん 施設中晩柑 露地中晩柑 水稻	213a 20a 12a 100a
4 畜産部門 (トップファーマー)	田中 成年・さとみ	佐世保市	酪農 (成牛)	62頭
5 農産部門 (トップファーマー)	農事組合法人 五月	壱岐市	水稻 WCS 大麦 ばれいしょ 飼料作物	922a 829a 997a 159a 397a
6 特産部門 (トップファーマー)	植松 芳文・玉美・昌太	南島原市	葉たばこ トルコギキョウ 露地野菜 雑穀	210a 30a 150a 120a
7 林産部門 (トップファーマー)	原野 貢・たづる	対馬市	原木しいたけ	289a (30,000本)
8 しまの農林業経営部門 (トップファーマー)	株式会社 道脇農園	五島市	葉たばこ かんしょ 麦	350a 140a 554a
9 産地集団部門 (いきいきファーム)	マルヤマ西瓜部会	島原市	すいか	8.3ha

# 農林水産大臣賞 及び 長崎県知事賞

受賞部門:花き部門(トップファーマー)

法人名

ゆうげんがいしゃ あさくらかえん  
**有限会社 朝倉花園**

代表者名 代表取締役 朝倉 陽平

市町名 諫早市

所属団体 JA ながさき県央諫早カーネーション部会  
長崎花き園芸農業協同組合カーネーション部会



朝倉 裕美

朝倉 陽平

## I 経営の概要

	主品目(カーネーション)	その他	合 計
作付面積(頭羽数)	53a	ガーベラ 50a 草花 9a	112 a
単収	103,211 本/10a	—	—
生産量(販売量)	547,023 本	674,706 本	1,221,729 本
労 働 時 間 (うち雇用時間)	11,664 時間 (8,496 時間)	11,664 時間 (8,496 時間)	23,328 時間 (16,992 時間)
役員数	3 人	労働条件の整備	就業規則の規定有
安全・安心と環境に調和した農業の取組	農薬使用低減の取組(防虫ネット、光防除)、 有機質資材の施用、有機肥料の施用、生産履歴記帳		

## 2 受賞の理由(特徴的な取組)

- (1) 主たる経営品目のカーネーションに加え、ガーベラ栽培にも力を入れ、ヒートポンプや炭酸ガス発生装置、長崎型低コスト統合環境制御装置等を活用した単収向上、LEDによる光防除技術による減農薬栽培等、最先端技術を先駆的に導入し、高品質な切り花生産により安定した経営を実践するなど、地域の模範となっている。
- (2) 取引市場へのPR活動によって価格の安定を図るとともに、本人自ら地元花屋や小学校等と連携した花育活動のほか、フラワーアレンジメント教室を開催するなど消費拡大に向けた取組を実践している。
- (3) JA ながさき県央諫早カーネーション部会長等生産組織のリーダーとして、産地ブランドの発展に寄与するとともに、中山間直接支払制度を活用した地域の草刈り作業や土地改良区理事として遊休農地の仲介に従事するなど地域農業にも大きく貢献している。



カーネーションのネット入れ

# 長崎県知事賞 受賞部門:露地野菜部門(トップファーマー)

氏名

えいだ たかし  
栄田 孝

えいだ ま ち こ  
栄田 真知子

市町名 諫早市

所属団体 JA ながさき県央ばれいしょ部会  
JA ながさき県央にんじん部会



栄田 真知子

栄田 孝

## I 経営の概要

	主品目(露地野菜)	その他(水稻)	合 計
作付面積(頭羽数)	春作ばれいしょ 300a 秋作ばれいしょ 100a にんじん 200a	45a	645a
単収	春作ばれいしょ 2,700kg/10a 秋作ばれいしょ 1,748kg/10a にんじん 3,748kg/10a	—	—
生産量(販売量)	春作ばれいしょ 81.0t 秋作ばれいしょ 17.5t にんじん 75.0t	1.9t	—
労 働 時 間 (うち雇用時間)	7,250 時間 (3,300 時間)	50 時間 (0 時間)	7,300 時間 (3,300 時間)
家族従事者数	2人	労働条件の整備	家族経営協定締結
安全・安心と環境に調和した農業の取組	有機質肥料の施用、長崎県版GAP(初心者用)実践、生産履歴記帳、資源循環の取組(地域内資源利用)		

## 2 受賞の理由(特徴的な取組)

- (1) ばれいしょとにんじんを中心とした露地野菜経営を行っており、基盤整備事業の活用や県内農機具メーカーと共同での省力化農機具の開発(平成27年長崎県発明くふう展において長崎県知事賞を受賞)、乗用型収穫機やドローン防除機等の導入による省力化、効率化を実現するとともに、外国人材の常時雇用にも積極的に取り組んでいる地域を代表する生産者である。
- (2) 単収および品質向上の取組として、病害虫抵抗性品種の活用や緑肥作付、堆肥施用などによる土づくりを積極的に実施している。また、早期肥大性のあるばれいしょ品種「アイマサリ」の先進的導入や関係機関と連携した肥料試験、品種導入検討も率先して取り組んでいる。
- (3) 飯盛地区は「マークイン」の長崎一の産地として市場から認知されており、高品質・高収量による安定出荷の実現により飯盛産「マークイン」の付加価値の向上に貢献している。また、飯盛土地改良区理事長を務め、長年、基盤整備事業の推進にも尽力しており、地域農業発展に貢献している。



にんじんの間引き作業

# 長崎県知事賞 受賞部門:施設野菜部門(トップファーマー)

氏名

まえかわ こういち  
前川 耕市

まえかわ やすよ  
前川 靖代

市町名 平戸市

所属団体 ながさき西海農業協同組合

平戸地区いちご部会

ながさき西海農業協同組合

アスパラガス部会平戸支部



前川 耕市

前川 靖代

## 1 経営の概要

	主品目(施設野菜)	その他	合 計
作付面積(頭羽数)	いちご 22a アスパラガス 20a	ぶどう 10a 水稻 120a	172a
単収	いちご 7,645 kg/10a アスパラガス 2,953 kg/10a	ぶどう 2,000kg/10a	—
生産量(販売量)	いちご 16.8t アスパラガス 5.9t	ぶどう 2.0t	—
労 働 時 間 (うち雇用時間)	6,614 時間 (2,900 時間)	514 時間 (300 時間)	7,128 時間 (3,200 時間)
家族従事者数	2人	労働条件の整備	家族経営協定締結
安全・安心と環境に調和した農業の取組	みどり認定、農薬使用低減の取組(防虫ネット、黄色防蛾灯、赤色防虫灯)、長崎県版GAP(熟練者用)実践、生産履歴記帳、資源循環の取組(2者間連携)		

## 2 受賞の理由(特徴的な取組)

- (1) 夫婦と常時雇用の外国人材1名で、いちご22a、アスパラガス20a、ぶどう10a、水稻120aを栽培する全国的に珍しい複合経営を行っている。
- (2) 平成30年にいちごで環境制御技術を導入、天敵昆虫、光反射資材、自動セロハン貼り機等の導入により飛躍的な増収と省力化を実現し、令和4年産では県1位の単収(9.1t/10a)を達成。またアスパラガスでは、天敵昆虫、黄色防蛾灯、赤色LED、自動かん水装置の導入に加え、令和7年3月から全国的に先進的な方式の高畠栽培に取り組むなど、環境にやさしい農業と快適で儲かる農業を両立している。
- (3) 令和2年の前川氏のテレビ出演を契機に平戸市への新規就農希望者が増加し、令和3年から6年の4年間で16戸(うち1ターン5戸)が経営開始。平成28年から令和7年までの10年間でいちご・アスパラガスの研修生8戸を受け入れ、新規就農者の確保・育成に貢献している。



定植後のいちご

# 長崎県知事賞 受賞部門:果樹部門(トップファーマー)

氏名

たがわ まさみち  
**田川 正道**

たがわ のりこ  
**田川 則子**

たがわ たいし  
**田川 大志**

市町名 大村市

所属団体 長崎県央農業協同組合みかん部会

はなまる研究会

施設中晩柑研究会



田川 大志 田川 正道 田川 則子

## I 経営の概要

	主品目(柑橘)	その他(水稻)	合 計
作付面積(頭羽数)	温州みかん 213a 施設中晩柑 20a 露地中晩柑 12a	100a	345a
単収	温州みかん 1,714kg /10a 施設中晩柑 3,935kg/10a	—	—
生産量(販売量)	温州みかん 30.7t 施設中晩柑 7.9t	—	—
労 働 時 間 (うち雇用時間)	—	—	7,530 時間 (3,050 時間)
家族従事者数	3人	労働条件の整備	家族経営協定締結
安全・安心と環境に調和した農業の取組	栽培暦および発生予察情報を活用した適期防除、 有機質肥料の施用、生産履歴記帳、資源循環の取組(2 者間連携)		

## 2 受賞の理由(特徴的な取組)

- (1) 所有する園地を自宅周辺に集約したうえに、園内道を整備したこと  
でスピードスプレーヤー防除等による作業の省力化・効率化を実現している。生産性が高い樹齢 20 年生以下が 4 割以上占めるよう、また高単価で販売される年末～年明け販売比率を高めるよう計画的に改植することで儲かる農業を実践している。
- (2) 細やかな栽培管理を実践し、令和5年産の単収は 2,591kg/10a  
(県平均 1,810kg/10a)、ブランド率は 58.9% (県平均 54%) と高く、JA ながさき県央ブランド「はなまる物語」、「味ホープ」として販売するなど産地をけん引している。
- (3) 萱瀬・野田地区の基盤整備推進委員会会長として、県央地区での果樹基盤整備の実現に向けて尽力するとともに、これまで JA ながさき県央施設中晩柑研究会会長、みかん部会郡支部長等を務めるなど地域農業および本県果樹産地振興に貢献している。



みかんの摘果作業

# 長崎県知事賞 受賞部門:畜産部門(トップファーマー)

氏名

たなか なるとし  
**田中 成年**

たなか さとみ  
**田中 さとみ**

市町名 佐世保市

所属団体 ながさき県酪農業協同組合  
西海乳牛改良同志会  
佐世保地区酪農ヘルパー利用組合



田中 さとみ

田中 成年

## I 経営の概要

	主品目(酪農)	その他(野菜加工等)	合 計
作付面積(頭羽数)	成牛 62 頭	—	成牛 62 頭
単収	9,530kg/経産牛1頭	—	—
生産量(販売量)	360.1t	—	360.1t
労 働 時 間 (うち雇用時間)	4,248 時間 (392 時間)	1,752 時間 (168 時間)	6,000 時間 (560 時間)
家族従事者数	3人	労働条件の整備	家族経営協定締結、就業規則に関する規定有
安全・安心と環境に調和した農業の取組	エコフィードの利活用、堆肥の供給、自給飼料の生産、抗生素の使用低減、生産履歴記帳、生産履歴に基づく販売、資源循環の取組(6者間連携)		

## 2 受賞の理由(特徴的な取組)

- (1) 成牛 62 頭を飼養する酪農経営で、生乳の生産と併せて、堆肥を利用して生産した野菜を加工した総菜、自家産ジャージー牛乳から作ったクッキー等を地元の直売所で販売するなど、経営の多角化を実践している。
- (2) 牛舎屋根の二重化による暑熱対策や、適期収穫した粗飼料を濃厚飼料と合わせることでバランスのとれた混合飼料を製造し、採食行動の安定化と消化効率の向上を図るために 1 日 7 回に分けて給与するなど基本技術を励行することで、乳脂率の年間平均は 3.96、体細胞数は 16.9 万/ml と高品質乳の生産を実現している。
- (3) 成年氏は日本型直接支払交付金組織の会長、佐世保地区酪農ヘルパー組織の組合長、さとみ氏は県農業士会の副会長、県酪農協同組合女性部長、直売所(柚木よかもん市)の副会長を務めるなど地域農業へ貢献している。



牛の手入れ作業

# 長崎県知事賞

受賞部門: 農産部門(トップファーマー)

法人名

のうじくみあいほうじん さつき  
農事組合法人 五月

代表者名 代表理事 辻村 繁

市町名 壱岐市

所属団体 壱岐地域集落営農法人連絡協議会

JA 壱岐市ばれいしょ部会



## I 経営の概要

	主品目(水稻)	その他	合計
作付面積(頭羽数)	なつほのか 799a にこまる 123a	WCS 829a 大麦 997a ばれいしょ 159a 飼料作物 397a	3,304a
単収	なつほのか 416kg/10a にこまる 424kg/10a	—	—
生産量(販売量)	38.5t	—	—
労働時間	1,702 時間	3,190 時間	4,893 時間
役員数	5人	労働条件の整備	就業規則に関する規定有
安全・安心と環境に調和した農業の取組	農薬使用低減の取組(側条施肥)、生産履歴記帳、資源循環の取組(3者間連携)		

## 2 受賞の理由(特徴的な取組)

- (1) 水稻、大麦を中心に、飼料作物、ばれいしょ栽培にも取り組んでいる集落営農法人である。
- (2) 直進アシスト等搭載トラクタによる省エネ、省力化を図るとともに、病害虫防除はもとより、水稻の播種や除草剤散布にもドローンを活用するなど、積極的にスマート技術を導入している。また水稻では直播栽培、高密度播種苗栽培の導入による資材費の節減、移植の補助作業の軽労化を実現している。
- (3) ばれいしょでは、壱岐でブランド化に取り組んでいる「壱岐黄金®」の地域最大の作付面積を誇り、代表はJA 壱岐市ばれいしょ部会の部会長を務めるなど産地化をけん引し、地域農業の発展に貢献している。



水稻湛水直播の播種作業

# 長崎県知事賞

受賞部門: 特産部門(トップファーマー)

氏名

うえまつ よしふみ うえまつ たまみ  
**植松 芳文 植松 玉美**

うえまつ しょうた  
**植松 昌太**

市町名 南島原市

所属団体 西九州たばこ耕作組合 島原支所



植松 玉美

植松 芳文

植松 昌太

## I 経営の概要

	主品目(葉たばこ)	その他	合計
作付面積(頭羽数)	210a	トルコギキョウ 30a 露地野菜 150a 雑穀 120a	510a
単収	287 kg/10a	—	—
生産量(販売量)	6.0t	—	—
労働時間 (うち雇用時間)	3,000 時間 (560 時間)	3,960 時間 (0 時間)	6,960 時間 (560 時間)
家族従事者数	4人	労働条件の整備	家族経営協定締結
安全・安心と環境に調和した農業の取組	発生予察に基づく適期防除、資源循環の取組(地域内資源の利用)		

## 2 受賞の理由(特徴的な取組)

- (1) 葉たばこを主たる経営品目として施設花き(トルコギキョウ)や露地野菜、雑穀を組み合わせた複合経営を行っている。葉たばこ経営は露地品目との複合経営が多い中、全国的に珍しい施設花きを組み合わせ、高収益を実現している。
- (2) 葉たばこの新品種「F80」を自身の経営に取り入れ、葉たばこ高架型作業機(AP-1)や針ラック、葉たばこ移植機を地域の中で先駆的に導入し、各種管理作業の大幅な省力化、効率化を実現したことで、地域の葉たばこ栽培のモデルとなっている。
- (3) 平成31年からは西九州たばこ耕作組合理事および布津たばこ生産組合組合長を兼務しており、地域の葉たばこ農家を牽引するリーダーとして活躍している。



葉たばこの花摘み作業

# 長崎県知事賞

受賞部門:林産部門(トップファーマー)

氏名

はらの みづぐ  
原野 貢

はらの たづる  
原野 たづる

市町名 対馬市

所属団体 対馬市しいたけ生産部会



原野 貢

原野 たづる

## I 経営の概要

	主品目(原木しいたけ)	その他	合 計
作付面積 (ほど木本数)	289a (30,000 本)	—	289a (30,000 本)
単収	生 10kg/千本 乾 60kg/千本	—	—
生産量(販売量)	生 100kg 乾 1,200kg	—	生 100kg 乾 1,200kg
労 働 時 間	3,840 時間	—	3,840 時間
家族従事者数	2人		
安全・安心と環境に調和した農業の取組	基礎 GAP(原木栽培きのこ)実践		

## 2 受賞の理由(特徴的な取組)

- (1) 平成 20 年に異業種から原木しいたけ栽培に新規参入し、温度・湿度・光管理が特に難しい「露地栽培」を実践している。機械導入による作業効率の向上・低コスト化を図り、適期作業や温度・湿度管理の徹底により、県内トップクラスの生産量を誇る。
- (2) 徹底した生産・品質管理、安全管理の結果、全農乾椎茸品評会において林野庁長官賞(令和5年度)、長崎県乾しいたけ品評会においては、農林水産大臣賞(3回)、林野庁長官賞(5回)、長崎県知事賞(11回)を受賞するなど多数の上位入賞を果たし、対馬しいたけのブランド化に貢献している。
- (3) 県農林技術開発センターの研究への協力や、しいたけ生産の活性化を図る「対馬しいたけ復活プロジェクト」に生産者代表として参加し、しいたけ生産の次世代への継承に尽力するなど地域産業へ貢献している。



徹底したほど木管理と高品質の乾しいたけ

# 長崎県知事賞 受賞部門:しまの農林業経営部門(トップファーマー)

法人名

かぶしきがいしゃ みちわきのうえん  
株式会社 道脇農園

代表者名 代表取締役 道脇 実喜夫

市町名 五島市

所属団体 西九州たばこ耕作組合

五島市葉たばこ生産組合

JA ごとう契約甘藷部会



## I 経営の概要

	主品目(葉たばこ)	その他	合計
作付面積(頭羽数)	350a	かんしょ 140a 麦 554a	1,044a
単収	259kg/10a	—	—
生産量(販売量)	9.1t	41.0t	50.1t
労働時間 (うち雇用時間)	—	—	10,800 時間 (8,800 時間)
役員数	1人		
安全・安心と環境に調和した農業の取組	みどり認定、堆肥の施用、生産履歴記帳、資源循環の取組(2者間連携)		

## 2 受賞の理由(特徴的な取組)

- (1) 離島の葉たばこ、青果用かんしょ、麦の複合経営で、契約取引品目を主体とした効率的かつ収益性の高い模範的な経営を実践している。
- (2) 作業の省力化のための高性能機械の導入、複数品目の輪作や原料配合にこだわった堆肥の生産・施用など品質・収量向上の取組により、葉たばこでは販売高1位、かんしょでも部会最優秀賞を受賞するなど、産地の技術力向上のトップリーダーである。
- (3) 青果用かんしょの契約栽培では、関係機関と連携し、規模拡大を図り、新産地の育成に意欲的に取り組むなど、地域の先導的リーダーとして五島の地域農業をけん引している。また、農業士、農地利用最適化推進委員、五島市葉たばこ生産組合 組合長を務めるなど地域農業へ貢献している。



かんしょ収穫作業

# 長崎県知事賞 受賞部門: 産地集団部門(いきいきファーム)

## マルヤマ西瓜部会

代表者名 部会長 山崎 孝博

市町名 島原市

発足・設立年 昭和 56 年



### I 組織の概要

品目	すいか	構成員数 (認定農業者数)	9人 (9人)	産地規模	8.3ha
販売量	423t	販売額	102,978 千円		
単収	5,096 kg/10a	単価	243 円/kg		

### 2 受賞の理由(特徴的な取組)

- (1) 部会員数9人、平均作付規模は92.2aで、栽培管理や共販体制が確立した3世代40年以上続く生産組織である。
- (2) 毎年、部会員自らが全圃場の土壌分析を実施し、単収向上に向けて適正な施肥設計に基づき栽培に取り組んでいる。また、適期収穫のため、打音や糖度測定とあわせて積算温度計を取り入れ、品質向上を図っている。
- (3) 出荷期間中は毎週全戸が集まり出荷定例会を開催し、出荷計画の確認や種苗メーカー、市場流通業者等を招き情報交換等を実施している。また、令和5年には、すいかのテスト輸出を行うなど新たな販路開拓にも積極的に取り組んでいる。



すいか収穫の様子



出荷定例会の様子